

## 学校給食への異物混入について

令和4年6月8日（水）、海老名市立門沢橋小学校の給食で提供された「フルーツミックス」に異物が混入した。児童が食べようとして口に入れたときに違和感があり、口から出したところ、ビニールの切れ端のようなものを発見し、教員に報告した。

口に入れてすぐ出したため、現時点では健康被害の報告はない。

なお、同校のほか食の創造館から提供されている他5校分（Aコース）の状況について確認を行ったところ、問題はなかった。

1 発生日時

令和4年6月8日（水）午後0時35分頃

2 発生場所

海老名市立門沢橋小学校（海老名市門沢橋1-19-1）

校長 後藤 純子 児童数 496人

3 事故の内容・経過など

同校3年生の児童が「フルーツミックス」を食べようとして口に入れたときに、ビニールの切れ端のようなものを発見した。

4 異物の概要

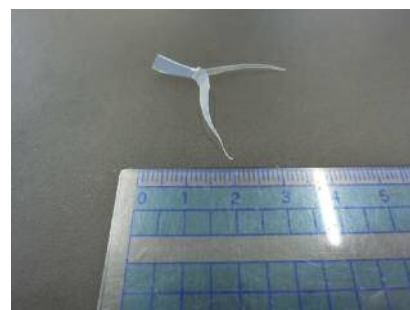
ビニールの切れ端のような透明のもの（幅約0.5cm、長さ約3.5cm）

5 当日の献立（Aコース）

ロールパン、やさいあんかけめん、  
フルーツミックス、プルーンヨーグルト、牛乳

6 その他

異物の混入原因については、現在調査中



▲ビニールの切れ端のような  
透明のもの

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市教育部就学支援課 電話046・235・4921

